



## かわびら なん 川開きって何なの

### 川のすずしさを楽しむことと、水の事故の供養をする

季節が夏になり、気温が高く暑くなるころに、日本各地で川開きが行われます。だいたい、7月初めごろから8月初めごろに行われています。

川開きというのは、夏、外に出て、すずしさを楽しむシーズンの始まりと、水の事故で亡くなった人の供養や、水の事故が起こりませんように、とおいのりする水神祭をかねた行事なのです。

東京、隅田川の両国川開きは有名です。江戸時代の中ごろから、くふうをこらした花火が打ち上げられ、江戸の名物となっていました。

昭和になると、交通安全の問題があるために、1962（昭和37）年から中断されていましたが、1978（昭和53）年、隅田川花火大会として復活しました。

昔から、季節が夏になって暑くなり、水に親しむことの多くなるこのシーズンには、水の事故が増え、悪い病気も増えるために、川祭り、水神祭が行われてきました。

水による災難をはらい、事故で亡くなった人の霊をなぐさめようとする川の祭りが、夏のすずしさを楽しむ行事に結びつき、これに打ち上げ花火などのはなやかさを取り入れて、にぎやかな観光行事になったのです。

### うみびら やまびら 海開きと山開き

川開きと同じように、各地の海や山では、それぞれ海開き、山開きが行われます。

海開きは、海水浴場で、その年初めて、いっばんの人々に開放することをいいます。

また、山開きは、その年初めて、一般の人々がその山に登ることを許す日をいいます。

（監修・田代 脩）

